岡山ガス株式会社

株式会社ホテルエクセル岡山

従業員数 107名

まるっとプラン 16,500円

岡山県岡山市/宿泊業

事業概要

「食」と「住」を通じて、お客様、社員の幸福、 おかやまの地域貢献のために事業を行っています。
本事業では、空調設備、冷凍冷蔵設備、デマンド、照明設備において省エネ診断を受診し、運用改善3件、投資改善2件の提案を受けました。



省エネ効果

エネルギー削減量（原油換算値）	CO2削減量	費用削減額
7.4 kl/年	18.2 t-CO2/年	91.6 万円/年

※　端数処理を切り捨てにて行っているため、合計値と内訳の合計が不一致となる場合があります。

登録診断機関からのコメント

事業所でのエネルギーの比率が、電力66%、都市ガス12%、LPガス22%となっています。（原油換算値）
玄関フロアや客室の照明も多くがLED化されており、給湯設備も高効率給湯器（エコジョーズ・LPガス）を採用など、既に省エネ対策を実施されている箇所も多かったです。冷凍冷蔵設備については、熱交換器のフィルター清掃や、設備上部へ荷物を置かない、などすぐに取り組める運用改善も見受けられましたが、多くが2009年前後での導入ということもあり、投資改善での取り組みも合わせて検討されることをお勧めします。

事業者様の声

普段見ない部分や大型機器なども確認していただけて、現状と改善点を把握することができました。日常でも注意できる点なども教えていただき、大変勉強になりました。

空調設備

運用改善 / 投資改善

【現状及び着眼点】
冷房設定温度については各場所に応じて、異なった温度が設定されていました。（23～26℃）また、事務所スペースでは25℃・弱運転で設定されていましたが、弱運転を続けると効率が悪くなります。
【具体的な改善提案内容】
冷房設定温度を1℃上げることにより、10%の省エネ効果が見込まれます。風の吹き出しをスイングや下向きにすることで、風を直接感じることで涼しく感じることができます。温度を上げながら快適性を下げることなく、省エネを進めていくことをお勧めします。

1.8 kl/年
4.6 t-CO2 /年
20.3 万円/年

冷凍冷蔵設備

運用改善 / 投資改善

その他の提案：高効率機への更新

【現状及び着眼点】
冷蔵温度が2～4℃に設定されています。庫内温度を調整することで省エネ効果が見込まれます。卵や野菜、飲み物などはそれぞれ適正な冷蔵温度があり、一律に収納して冷やすとエネルギーロスに繋がります。
【具体的な改善提案内容】
冷蔵庫や冷凍庫の使い方を調整することで、庫内温度を上げて運用することが可能です。冷凍庫もJIS規格で-18℃以下で定められているので、-20℃以下で運用しているところがあれば1℃下げることで4%以上の省エネ効果があると言われています。

3.0 kl/年
7.4 t-CO2 /年
32.8 万円/年

デマンド

運用改善 / 投資改善

【現状及び着眼点】
デマンド監視装置を設置されていますが、活用が不十分のため、デマンド対策のために有効活用することをお勧めします。
【具体的な改善提案内容】
目標値を超える可能性があるときに 停止可能な設備を予め定めておき、その設備を停止させます。お盆時期がデマンドが最高値になる傾向とのことなので、電気の30分データなどを活用しながら、運用でのピークカット対策を策定することで電気料金を削減することができます。現在の126kWから116kWへ削減することを目標とします。

－ kl/年
－ t-CO2 /年
11.4 万円/年

照明設備

運用改善 / 投資改善

【現状及び着眼点】
既に事務所や客室はLEDへ更新されていますが、一部白熱電球や蛍光灯が利用されている場所があります。

【具体的な改善提案内容】
従来の蛍光灯をLEDに更新することで省エネを図ります。電球の交換だけであれば工事の必要はありませんが、直管蛍光灯からLEDに更新する際には不要な安定器を取り外し、直流電源装置への交換を伴うため、電気工事の有資格者が必要です。

2.5 kl/年
6.1 t-CO2 /年
27.1 万円/年